

## 令和3年度 第7回 邑南町教育委員会 会議録

1. 招集期日 令和3年7月21日(水)  
招集場所 田所公民館 視聴覚室
2. 出席委員 土居教育長、森岡委員、服部委員  
欠席 井上委員、武田委員
3. 説明のため出席を求めた者及び参加者  
高瀬学校教育課長、三上生涯学習課長
4. 会議録に署名すべき委員の指名  
服部委員、森岡委員

土居教育長：

日程第1

これより、第7回の邑南町教育委員会を開催いたします。

(13:20～)

日程第2

今日の教育委員会の会議録署名は、服部委員さん、森岡委員さんをお願いをいたします。

日程第3 議決事項

議案第25号 教育支援委員会の答申について

高瀬学校教育課長：

審議結果について資料をもとに説明  
個人情報により省略

土居教育長：

議案第25号教育支援委員会の答申について、ご承認いただけますでしょうか。

教育委員： 了

土居教育長：

議案第26号 邑南町教育委員会の点検評価及び公表に係る第三者評価機関委員の委嘱について

高瀬学校教育課長：

外部の評価委員さんが10名おられます。そのうち初めの3名が新たに委員に

なられた人、学識経験者については推薦という形ではございますが、3名の方が評価委員となっております。

土居教育長：

地域のバランスや男女のバランスも考えましたが、充て職の方がおられますので、今回は羽須美地域と石見地域が多い状況になっています。ご質問はございませんでしょうか。

服部委員：

任期については、3か月なのか。

土居教育長：

今回の評価をしてもらうためだけですので。

議案第26号 邑南町教育委員会の点検評価及び公表に係る第三者評価機関委員の委嘱について、ご承認いただけますでしょうか。

教育委員： 了

土居教育長：

議案第27号 邑南町教育委員会の権限に属する事務の点検評価について

あらかじめですが、前年度は、コロナの感染拡大によって、かなりの事業を中止をしています。そうしたところで、実績評価をどういうふうにするかということで、やむを得ない事情で中止をしました。その部分は差し引いて評価をしようという考え方にたって実績評価はしています。実績評価の平均により総合評価もこれまでどおりやっていますので、それを踏まえてご意見をいただきたいと思えます。

高瀬学校教育課長：

資料をもとに説明

1 ページ目から、昨年度教育委員会で審議してもらいました議題について上げております。これについては、6 ページまで掲載をしています。次2の教育委員の諸活動について、4月2日の着任式に始まりまして、赤で書いてある諸活動について上げています。3の教育委員の研修等については、新型コロナウイルスの感染症の影響により各種研修会が中止となっています。8 ページの教育委員会だよりについては、年3回の発行をしています。教育委員会所見につきましては、総務教民常任委員会との意見交換会、それから総合教育会議では「公民館のあり方について」をテーマに議論をしていただいています。それから(1)教師力向上対策事業・学力向上対策事業についてです。元年までは島根県の委託事業がご

ございましたが、2年については事業がなくなりましたので、標題を変更していません。その中でそれぞれ教師力向上対策事業の取組、学力向上対策事業の取組を赤で示しています。10ページの(2)学校の魅力化についてでございます。地域とともにある学校づくりについてですが、令和2年度はモデル地区を設定しました。羽須美地域では、羽須美地域全体を対象とした羽須美中学校区、瑞穂地域におきましては、田所地区、出羽地区を対象とした瑞穂小学校、石見地域においては、日貫地区を対象とした日貫小学校をそれぞれモデル校として設定をして、地域とともにある学校づくりの協議を行ってまゐります。それから、②小規模特認校については説明会を開催し、小規模特認校の魅力を参加者の方にお伝えをさせてもらっています。(3)学校体育設備緊急対策事業の実施については、令和元年度に実施した体育器具につきまして、令和2年度に落下防止対策の事業を実施しました。(4)新型コロナの対策事業の実施ということで、全小中学校の水道のハンドルをレバー方式に変更していますことを記載しています。(12)石見中学校改築基本設計業務ですが、令和2年12月16日から令和3年6月25日までのところで基本設計業務を行ってまゐります。(6)新型コロナウイルス感染症への対応ということで、学校の一斉休業の期間、学校再開後のマスクの着用であるとか、児童生徒への検温などの体調管理、校内の換気、消毒や手指消毒などの感染防止を行ってまゐります。それから水泳指導につきましては、健康診断が延期されたことや感染拡大のために全校中止としてまゐります。夏場のプール開放についても中止としてまゐります。(7)のGIGAスクール整備について、令和2年度から段階的に整備される予定であったノート型パソコンにつきましては、一斉に全学年整備をさせてもらっています。併せて学校のネットワークについても整備をしてまゐります。

三上生涯学習課長：

資料をもとに説明

つづいて公民館のあり方についてです。14ページです。教育総合会議において公民館のあり方が問われ、今どきの社会教育のあり方や地区別戦略事業における公民館の役割についてプロジェクトチームを立ち上げ可能性を探究し、地域の人への聞きとりなどを行い、持続可能なコミュニティデザインを作っていくための学び合いの場として社会教育フォーラムを開催しました。また公民館の方では、コロナ禍の中でいかにどうやって集うことやつなげていくことが出来るかを考え、ICTを使ってWeb会議を取り入れた会議を行ったり、できることを努めてまいりました。(9)東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業についてと修正をさせていただきます。障がい理解と障がい者理解を最大の目的として、フィンランド共和国ゴールボールチームの合宿招致について進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期となっています。しかし、理解を求めていくための取組を以下の通り実施してまゐります。また、豊かな国際感覚と日本人としての自覚と責任感を身につけるため、グローバル社会に貢献できる人

材の育成を図ることを目的として、フィンランド共和国の交流派遣事業について進めてまいりましたが、合宿と同様、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。しかし、オンラインによる高校生間によるフィンランド共和国との交流を図ることができました。今後はオンラインにてお互いの国の文化をより深く学ぶことが出来るよう取り組んで行きたいと思っています。次の所ですが、16 ページの最後にありますユニバーサルデザインの推進のところを削除させてもらい、(9)の後にユニバーサルのことを書いています。誰もが暮らしやすい町、共生社会の実現を目指すために町内の公共施設や学校などのバリアフリーの調査を実施しました。この調査は、ハード面の改善を目指すものではなく、無い部分を人々の思いやりや優しさでカバーできる「心のバリアフリー」を考えることを目的としています。今後バリアフリーのマップを作成し、おおなんバリアフリーマップとして町内に周知を図り、さらにユニバーサルな気運を高めるよう取り組んでまいります。(10)親学ファシリテーターについては、令和2年度資格取得者が6名、養成講座を5回開催しています。(11)久喜銀山遺跡の国史跡に向けた準備を消して取り組みに変えています。平成22年度から調査を実施してまいりまして、その成果について文化庁の調査官にも来ていただき現地指導をしていただく中で、令和2年度に実施した縄手遺跡の調査が16世紀後半から17世紀初頭にかけて操業していたことが判明し、このことが大いに評価され総括報告書にまとめられまして、昨年度報告書を作成し文化庁へ国史跡にするよう意見具申を提出しております。今年度6月18日に、審議会から文部科学大臣の方に答申がなされております。先ほど言いましたユニバーサルデザインの推進については、削除しております。

土居教育長：

11項目について教育委員会の所見をまとめましたが、一端ここで切って直す点等あればご意見をいただきますようお願いいたします。

服部委員：

8ページのところで、学校訪問が2回出てくるところはどうか。(4)の新型コロナウイルス感染症と(6)の新型コロナウイルス感染症拡大と2つ出ているが一つにならないか、同じコロナなので。

土居教育長：

事業と対応とを分けて記載したが、分かりやすくするのであれば一つにし、拡大への対応としてこの事業を行ったと書いてもよいのでは。

服部委員：

オリンピック、パラリンピック関連事業のところで、トイレの色が青になって

いることがありましたが、ジェンダーの意識のことを考えていることを書いてもらった方がいいのではないか。(2)学校の魅力化の最後のところで、学ぶあたりの、「進めていく場開催」を「進めていく場を開催」にしたほうが。回数は書かなくていいか。去年は3回か。開催したか。

高瀬学校教育課長：

回数はあとの方で記載をしています。

土居教育長：

コロナ対応のところで、ケーブルテレビの補助と就学援助世帯への補助を項目だけでも書いておいたほうがいいのでは。事業としてやっているのです。

高瀬学校教育課長：

そうであれば、水道のレバーのところに事業として項目を上げておきます。

土居教育長：

また後、気が付かれたらお願いしたいと思います。それでは点検評価のところで17ページのところから、学校教育課の方から説明をお願いします。

高瀬学校教育課長：

点検評価1の方ですが、①人権・同和教育の推進です。今回コロナにおきまして、毎年1学期に実施しておりますが、転入教職員の人権・同和教育研修会を2学期に実施しております。小中学校の職員研修についてはコロナによりまして夏休みの期間が短縮されたことによりまして中止をさせてもらっております。主な事業内容と実施状況についてですがこちらはご覧をいただければと思います。次の点検評価の②です。その中で実践的な学習の推進につきましては「学び合い学習」の深化のために町内職員の方に手引書の方を配布させてもらっております。主な事業内容と実施状況についてですが、モデル校3校とありますが、4校の間違いです。瑞穂中学校、阿須那小学校、瑞穂小学校、石見東小学校それぞれで、2回「学び合い学習」を開催させてもらっております。それ以外にモデル校以外の学校については1回開催させてもらっております。それから③の確かな学力を育むにつきましては、令和2年度は全国の学力調査が、こちら令和3年度になっておりますが令和2年度の間違いです。令和2年度は中止となっております。県学力調査につきましては、小学校は5年生は県平均は下回りましたが、6年生は県平均とほぼ同等、中学校1年、2年生につきましては、数学・英語は県平均を下回ったが、国語は県平均であったということでございました。それから評価3の方のキラサポ事業についてですが、チェックリストを作成し活用するように周知をさせてもらっております。ALTにつきましては、当初もう一人来日し3名体

制となる予定でしたが、新型コロナウイルスによりまして令和2年度は来日困難となっております。そのことをお伝えをさせて頂いております。課題としては、花まるさんすうが新型コロナによりますが、登録者が半減しておりますが、地域の大人の方からについては肯定的な言葉がけを受け参加者の満足度が高いという状況でした。それから中段以降、子どもキラサポについてですが、チェックリストを作成しましたが、活用の方に課題があったと思われましたので記載しております。主な事業内容と実施状況につきましてはご覧いただければと思います。最後教育設備の活用ということで、GIGAスクール事業により小学校1年生から中学校3年生までの児童、生徒に対して一人一台の情報端末の導入を進めたことを記載しております。これにつきまして、家での持ち帰りの学習のために必要であると思われるルーターの購入や、邑南ケーブルテレビの加入促進のための要綱制定を行い、家で持ち帰り学習が出来るように条件整備も令和2年度行っております。それから④の特別支援教育体制の構築についてです。これにつきましてはそちら中段の上の方に書いてありますが、浜田教育事務所から指導主事を招き、特別支援学級教育課程の説明会を実施しております。課題の方については、特別支援教育コーディネーター連絡会での活用について情報共有を行っておりますが、就学前から就労期までの「切れ目のない支援」を行うための個別な教育支援計画の活用について、各学校の状況把握を行い、必要に応じて見直しをする必要があるということで課題の方あげさせて頂いております。次6ページの方ですが、主な事業内容と実施状況については、ご覧いただければと思います。それから点検・評価7の就学環境の充実についてです。スクールバスについては令和2年度1台購入をさせて頂いております。羽須美田所線1台購入です。これについての課題ですが、乗車人数の実績や過去の修繕実績や購入後の経年劣化等々を総合的に考慮して再編計画を適宜修正していく必要があり、課題に掲載させて頂いております。主な事業内容と実施状況についてで、中段の就学援助費の給付ですが、新型コロナウイルス感染症の影響による家計の急変に対する就学援助費の支給ということで、それぞれの支給人数と額の方を掲載させて頂いております。それから9ページ、学校の魅力化についてです。おおなんドリームのことであるとか、小規模特認校制度、地域と共にある学校づくりのことについて点検・評価をさせて頂いております。課題としましては、そちら地域とともにある学校づくりのことについて課題を整理させて頂きましたが、それぞれ3地域の方のことで掲載をさせて頂きましたが、まず日貫小学校区の課題としましては、学校、地域、保護者間での育てたい子ども像の共有化をどう図っていくのか、地域の現状や子どもたちの個性をどう育てていくのかが今後の課題となりました。瑞穂小学校区での課題としては、将来ともに暮らしたい人物像としての子どもへの関わりについて学校と地域の目指す方向性は同じですが、具体的な行動目標を今後どう実行していくのかが今後の課題となりますというふうに載せさせて頂いております。最後羽須美中学校区についてですが、子どもの将来像は参

加者の共通認識としてとらえることは出来たとは思いますが、行動に移す手掛かりについて、こういったような主体性をもって取り組みを考えて行くのかが今後の課題というふうにそれぞれ地区ごとに課題の方をまとめさせてもらっております。主な事業内容と実施状況については、各地域で行われました事務局会議を含めての分科会の回数を載せてもらっております。それから地域を担う意識の育成です。点検・評価 8 です。こちらの方につきましては課題の方で、新型コロナウイルス感染症により臨時休業の影響で中高キャリア教育研修会の実施を見合わせております。キャリア教育についてはキャリアパスポートの開始により各校で取り組みを進めております。それから主な事業内容と実施状況については、そちらキャリア学習ということで、以下のような内容のことを学習を行っております。その次②番の地域との共同学習についてですが、おおなんドリームのことをこちらに掲載させてもらっております。課題としては、新型コロナウイルス感染症のことがありましたので、各会場を ZOOM で繋いでおおなんドリームを開催させてもらいましたが、一部機器の取扱いの不備がございまして、時間をとってしまったことがありましたので、こちらに載せております。主な事業内容と実施状況については、ご覧をいただければと思います。それから点検・評価 10 の学校施設の整備についてです。そちら計画修繕の実施ということで屋上防水であるとかバスケットゴールの落下防止対策などが、あと緊急修繕で、出来たところを載せさせてもらいましたが、手洗い水栓のハンドル交換をしております。石見中学校の改築基本設計の方そちらの方に掲載をさせてもらっております。主な事業内容と実施状況については、バスケットゴールの落下防止対象校、屋上防水工事の対象校、レバーハンドル等々実施状況を記載させてもらっております。それから点検評価の 11 です。そちらについては通学路の安全対策、防犯パトロールということで赤字で書いておりますが、令和 2 年度は更新者の方のみならず、登録者全員の方に講習会を開催させてもらって、参加率については 15% あったものが 43% に上昇しております。今後につきましても全体の登録者の方に研修会を進めて行くことで、日頃の交通安全の活動に対しての士気を高めてもらうことが必要だと考えておるということで課題の方まとめさせてもらっております。主な事業内容と実施状況については、そちら変更点を記載しておりますのでご覧をいただければと思います。その他のところですが、学校事務共同実施連絡協議会のところを記載させてもらっておりますが、課題の方赤字で書いておりますが、令和 2 年度は新採の方も多かったことがございまして、グループ内での指導等についての課題の方掲載をさせてもらっております。実施状況と結果についてはそちらに書いておりますが、下の教職員住宅についての点検・保守等行っております。修繕が必要なところについても随時行っております。学校教育の点検・評価は以上でございます。

土居教育長：

学校教育の点検・評価について説明がありましたが、これについて質問ご意見をお願いをいたします。

森岡委員：

点検・評価の5のところなんですけど、5の特別支援教育体制の構築の課題のところなんですけど、赤で書いてあるところで、相談支援ファイルすこやかにについて云々の次のところ、下の就学前から就労期までの「切れ目ない支援」というふうに書いてありますよね。この就労期というのは学校が終わって次の社会に出ていくというところまでやるということですか。

高瀬学校教育課長：

学校が終わって、高校卒業、終わってその次の、大学進学もあろうかと思いますが、そこまでのところで繋げていくというところで。

土居教育長：

教育委員会の仕事としてということじゃなくて、ネットワークの体制そのものが関係機関と訪問ネットワークを含んでいるので、そういう狙いでやっているということです。

森岡委員： はい。

服部委員：

言葉が分からないので聞いてみるんですけど、サイボウズというのは。学校事務共同実施連絡協議会。点検・評価12。これは何かのアプリみたいなものなんですか。

高瀬学校教育課長：

はい。職員間のメッセージをやり取りするとか、スケジュール管理であるとかそういったものをまとめたソフトがありまして、サイボウズというのは固有名詞です。

服部委員： はいわかりました。

土居教育長：

職員間や学校もサイボウズで繋がって、メールややり取りが出来る様な。

服部委員： はい。



土居教育長：

よろしいでしょうか。それでは生涯学習課の方をお願いします。

三上生涯学習課長：

点検・評価13のところからになります。施策1 邑南町が推進する人材育成のステップ、人づくり・地域づくり・町づくりを推進する社会教育ということです。①の地域学校です。地域学校自体は新型コロナウイルス感染症のことがあり、対策を講じて規模を縮小して開催してまいりました。地域学校を開催する中で、地域学校の交流会については先進地事例を見て学習していこうということで、3月に計画をされていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。昨年計画していた先進地視察が出来なかったことでもありますので、早々に課題として先進地視察を研修しながら、親世代の取り込みといえますか、参加者数を増やすことを進めていきたいと思っております。主な事業内容については以下のようになっておりますが、出羽のわんぱく学校のところですが、ここに括弧とさせていただいて、3回開催をしております。別に1回、4回の内3回開催し、1回中止となりました。その1回が先進地事例をみんなで視察してという回でした。続きまして家庭教育ですが、地域総がかりで子育てを行うという土壌づくりを意識した取り組みをということで、わくわくフェスタやミニミニ外国など、プロジェクト会議を行って進めてまいりましたが、イベント自体は中止となりました。しかし、中止となるまでにどうしたら出来るかと検討していましたが、なかなか進められず中止となりました。地域で子育てを行うという意識については高まったと思っております。課題としましてコロナ禍でも出来ることを考える1年となり、イベントの仕方について考える必要があると思えます。小中学校の研修会、子育てイベントを利用し、保護者同士の連携や繋がりを検討していきたい。親学ファシリテーターについては、修了者のスキルアップやフォローの場の提供を検討し、実践できる場を考えていきたいと思っております。主な事業は以下のようになっております。親学ファシリテーターにつきましては養成講座が5回開催出来ております。以下ご覧をいただければと思います。続きまして次のページ④成人教育ですが、町民大学について4回企画しました。そのうち2回は新型コロナウイルス感染症の関係で中止となっております。第3講、第4講についてはどういう形で出来るかということで、オンラインを使いまして12の公民館を繋いだり、ZOOMを使つての開催が出来ました。課題としましては、こちらも同じですがコロナ禍でも開催できる方法を検討して、計画通りに実施できるように努力したいと思えます。内容としましては、以下のようになっております。ボランティア活動の機会の充実ということで、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、年度当初は学校へ地域の方が入ることができない状態が続きましたが、学校支援からのボランティア育成については、地域コーディネーターに積極的に活動してもらって、学校支援を中心とした応援団の増員・設置に努めること

ができました。いくらかではありますが地方の方々を巻き込むことがさらにできていると思っております。地域と子どもたちが繋がることのできる事業を、公民館、学校で考えて皆さんが関わる場を作ることが必要だと感じております。主な事業のところではボランティアの登録の総数ですが、登録者数が230名から258名に増員となっております。続きまして次のページの点検・評価18ですが、東京パラリンピック合宿招致につきましては、コロナ禍の関係で出来る事、出来ない事等を考えながら以下の取り組みを行っております。それぞれWebを使つてのフィンランドの高校生との交流会についても、どういった形でできるか、そういうことを考えながら、進めてまいりました。続きまして点検・評価19の公民館の整備・充実ですが、公民館の職員だけが公民館を担うのではなく、地域の皆さんと一緒に公民館を運営していける様な活動が見える化し、皆さんに当事者意識を持っていただくような運営ができたと思っております。主な行事の中では公民館まつりとして舞台と展示とありますが、コロナ禍の関係で舞台の方はそれぞれの公民館について中止となっておりますが、展示の方は充実して出来ております。また生涯学習情報の提供のところでは、学び戦隊コウミンカンジャーを組織し、色々テーマを決めながら、ケーブルテレビ等を利用して研修、社会教育推進の取り組みを続けられたと思っております。続いて点検・評価20のところでは平和教育の推進のところでは、こちら歩こう広島からについては中止になっておりましたが、講演会それから写真展等を引き続き行い、コロナ撲滅千羽折り鶴を依頼して夏には千羽以上が集まって掲示することができました。人権教育については各館行っております。町の講演会でのリモート、さらには障がい理解のリモートのみに終わってしまった館が2館ありますので、点数としましては9とさせていただきます。3年度については必ず開催していただけるように支援をしていきたいと思っております。続きまして点検・評価22のところでは、④の学習成果発表の場の充実ということで、社会教育の1年の集大成の位置づけとして社会教育フォーラムを開催しております。昨年には下の段にありますようにおおなんフォーラム社会教育の集いということで、今どきの社会教育についてテーマにし、公民館のさらなる充実を目指して開催し、令和2年度をふり返った中で地区別戦略事業における公民館の役割や、中学生の公民館参画などの課題解決に向けて話し合いまして、令和3年度には具体的な取り組みについて取り組んでいこうということで12館意思統一が図れております。点検・評価23、図書館の整備・充実につきましては、読書ボランティアの方と共に子どもたちにお話を届ける大切さの再確認をしまして、感染対策を取りながら学校、保育所に訪問できました。課題としましては書籍の消毒など、利用者に安全に図書館利用をしていただくための方法をこれから考えていかなければならないと思っております。冊数等については以下のようになっております。社会体育の充実、点検・評価24になります。こちらの方もやはりスポーツとなると体の接触等考えられるところから、コロナ禍でありなかなか開催に至るものはありませんでしたが、その中でも楽しめ

るスポーツ振興のため、何かというところを考えながら、実施できるものを実施しております。東京オリンピック、パラリンピック関連事業と連携しながら、ゴールボールの体験等開催出来ています。それからスポーツ教室の開催、最後のところですが、NECのバレーの合宿については出来ませんでした。何も無い状態ではいけないということで、バレーボールにNECの選手のサインをしていただいた物を中学校のバレー部、スポーツ少年団、矢上高校のバレー部、石見養護学校の島根クラブのバレーボール部の方に寄付をさせていただいて、メッセージも併せて届けて、次年度への繋がりをつくっております。続いて点検・評価27になります。学校と地域が連携した取り組みについては人権・同和教育の方は教材の活用の仕方についてぜひやりましょうということで、行いました。今後もプログラム教材やその他の教材がありましたので、学校と連携して引き続き行っていきたいと思っております。昨年度は転任教職員に対しての人権同和教育の現状と課題についての研修を行っております。ふるさと学習については、おおなんドリームの方、先ほども学校教育の方でもありましたおおなんドリームを行っております。続きまして点検・評価29、地域文化の創造についてです。関係施設の整備・充実ですが、昨年からハンザケ自然館が直営となりましたので、さらに学習施設としての役割をより一層強く今一度確認して事業を実施していきたいと思っております。自然館の活用等については、目標以上の回数を行っております。また歴史の方につきましては、久喜銀山遺跡の方の報告書をまとめて文化庁の方に意見具申の提出が出来ております。先ほども言いましたが、今年度6月18日に答申がでたところでございます。芸術文化については、ハンザケ自然館で複数回開催しましたが、コロナウイルスの減少の中でもハンザケ自然館の来館者が、減少はしておりますが確保できて、それなりに来館者がございます。SNSの運用を開始し、様々な取組を全国に情報発信をしているところでございます。主な事業内容は以下の通り、写真展を開催しております。SNSとして、Instagramが500人、Twitterが400人のフォロワーがあります。続きまして施策、人権教育・啓発の推進でございます。人権教育啓発の推進につきましても新型コロナウイルス感染症の影響で通常の学習会が、なかなか講演会等できません。出来ない中で考えてWebを使っての講演会、さらにその講演会を各公民館で一緒に視聴出来ることを考えて行いました。2回の講演会での集計ではありますが、初めて人権講演会等に参加したという割合が21%になっております。引き続き課題としましては参加者の固定化を解消していくために色々な教材、DVD等を利用しての開催、小さなグループでの取り組みや、また映像、Webを使っての開催など考えていきながら、人権問題を自分の問題としてとらえていただけるよう参加者が行動へと移せるような取り組みを考えていきたいと思っております。主な事業につきましては以下の通りでございます。以上です。

土居教育長：

多岐にわたってなかなか初見で質問等難しいと思いますが、気が付かれたところで結構ですので、ご意見をお願いをいたします。

服部委員：

毎年思うんですが、この評価1、27、31と、人権同和教育が3回も出てきます。もちろん学校教育課と生涯学習課と分けてあるとは思いますが、たとえば評価27については、学校教育課のところにまとめて、書いてある内容もほぼ似たようなことと思いましたが、生涯学習課と提携して括弧書きで書いても。生涯学習課だけでやったものは別に書いても、共同してやったものを改めて書かなくても。書いてあることは同じようなことだが。事業名が書いてあるので評価をしないといけなくなるのでは。

土居教育長：

実施計画で出しているものですので、それに対応した評価をしているということです。令和3年の実施計画書を見てもらい直したものをあげていますので、令和4年からは見直してもいいと思います。

服部委員：

3回同じものが出てきて、一体化した取り組みというのは、評価がさがるか。

土居教育長：

令和4年の実施計画のところで、ご意見をいただいて見直しをしていくことも考えていく必要があると思いました。

三上生涯学習課長：

さきほど服部委員さんが言われた、人権同和教育の推進、ふるさと学習、食育の推進、読書の普及という、この4つを見直しということで。

服部委員：

学校教育とほとんど同じことが書いてあるので。

土居教育長：

実施計画があり、それに対しての評価ですので。令和3年度についてはすでに作成をしていますので、令和4年度の実施計画を見直していくということによろしいでしょうか。

服部委員：

そのほうがいいと思います。それと評価18の東京パラリンピックのことです

が、令和3年度が始まって今更どころはないですが、令和4年度の時にはパラリンピックの名前はどこかに入れてしまって、事業名を変えないといけないのでは。生涯教育とか人権教育のところに振り分けて令和4年度は事業を振り分けた方がいいと。この度のはこれでいいと思いました。レガシーは残さないといけないか。

森岡委員：

こういうところに一般財源を使うのであれば、他で使って欲しいところは一杯あるんで。来年度早い内に検討をするべき。別に今までやって来たからこれを来年もやると思う必要もないし、ただ町長部局でやるというのであれば、予算を取ってもらえればいいんで。今年、来年度の予算化するまでには考えて行かないといけない訳ですよ。検討したらこれをやるよりはこういうことをやりたい。やっぱりあるものは制御していく中で。

土居教育長：

フィンランドの交流派遣事業については、島根県の補助金が何年か使えます。個人負担が半額なので、この事業が終わっても継続が出来る形にはしてあります。5年で借入をして返していくという制度もやっていますので、教育委員会が担当するのか、別の課がやるかは別にしても、協議をしていかないといけない。

森岡委員：

国際交流という視点でいくのあれば、教育委員会でやらなくても総務課とか他の部署でも出来るのではないかと。わずかだろうけど一般財源がいらしますよね。

服部委員：

自己負担がありますね。

森岡委員：

国際交流を考えて行くと、総務課でやってよとか。

土居教育長：

ほかご質問はございませんでしょうか。また持ち帰っていただいて気がついたところを教えていただけたらと思います。見え消しがありますので少し分かりにくいかもしれませんが。文章のつながりもおかしいところもあるかもしれません。評価委員さんへ提示するのは、直したところだけを。

高瀬学校教育課長：

評価委員さんへ出す時は、教育委員さんの意見を入れて事務局で直したのものも

入っています。赤、黒、青と3色になるので、見にくいかもしれません。

土居教育長：

前年度を出す必要があるのか。評価委員さんに。

高瀬学校教育課長：

確かに見にくいとは思いますが、外部の評価委員さんには、教育委員さんからの意見は赤字で修正して、完全修正にした形で見てもらった方が一番良いかもしれません。見やすいでしょうし。

土居教育長：

前年度のものを見てもらって評価してもらう必要があるだろうか。

教育委員さんは分かるので、あった方が分かり安いが。

高瀬学校教育課長：

前年度がどうであったかを見てもらうには、見え消し状態がいいかもしれませんが、見えにくいです。

森岡委員：

これは教育委員が評価をして評価をしましたと見せるだけなので、経緯のことは別にそこでは問題ではない。

土居教育長：

もし質問があれば、それについて回答をして理解をしれもらえばいい。

高瀬学校教育課長：

それであれば、外部委員さんに見てもらうものは、教育委員さんからの意見を赤字で書いて、前年度分は消した状態で提示をします。

以上で、第7回を終了します。

(～14:47)